

### 3. 各ぼうさいカフェの概要

## ホームセンターを「ぼうさい」の観点で歩き、 災害時への活用を考えました！

(新潟県新潟市にて実施したカフェ)  
開催詳細：P57 参照

ホームセンターは、全国各地にあり、ふだんから生活雑貨等を購入する身近な存在ですが、防災に利用できる用品の品揃えが豊富であることは、あまり知られていません。

そこで、ホームセンターで身近に防災用品等にふれることで、事前の備えに着目して頂くと共に、地域の防災用品拠点として活用して頂くことを目的として開催しました。



#### 【開催概要】

ホームセンターでのぼうさいカフェは、こんな風を実施しました。

**まずは「まちを知る」**

昔の地図や地名、起こった災害からみんなが住む「まち」の特徴や危険性を知りました。

**次に「知恵を学ぶ」**

ホームセンターの店内を回りながら、家具の固定方法や、ガラスの飛散防止など、すまい・くらしの安全・安心に関するノウハウなどを学びました。

**店内ツアー**

**そして「明日に活かす」**

昔の地図や家の模型で今日のおさらいをしました。質問コーナーでは「ピアノはどう固定するの?」「ウチの車は発電機として使える?」「命だけでも助かる耐震は?」など、さまざまな質問が出され、活発なやりとりが行われました。

#### まちを知る

写真や昔の地図で、自分たちが住んでいる町で起こった災害の様子を振り返りました。



#### 知恵を学ぶ

次にグループに分かれ、専門家と一緒に実演コーナーを回る店内ツアーをしました。

<家具転倒防止コーナー>



【写真 左】寝室の家具が固定されていないと、地震時、家具に押しつぶされてしまいます。(台車で家具を揺らし、人形の上に倒す実演)

【写真 右】ホームセンターで売られている木材を使って壁と家具の模型を作成し、家具固定方法を説明しました。

< ガラス飛散防止コーナー >



ガラス飛散防止フィルムの貼り方や防災ガラスの性能を体験しました。

< 防災用品いろいろコーナー >



災害予防（まずは身を守る）の観点からさまざまな防災用品を1つのコーナーに集めました。

< 地震体験コーナー >



過去にこの地域で発生した地震を体験して頂きました。

上記のコーナー以外にも、「家具はどれを選ぶと安全か?」、「災害時にはこんなものが使えるのでは?」という観点で、自由なアイデアを出しながら歩きました。



さあ、班毎に店内ツアーへ出発です。



部屋の照明は、天上に吊り下げるタイプより天井直付けタイプ（シーリングライト）の方が地震の時安全です。



食器棚は耐震ラッチが着いていると、地震の時安全です。



避難中は、お皿にラップフィルムを敷いて使えば、毎回洗う必要がありません。

**明日に活かす**

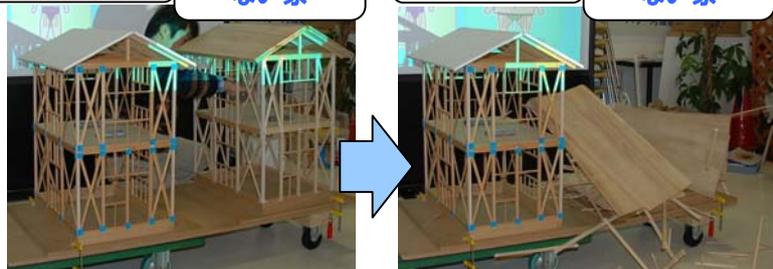
最後に皆でフリートークをしました。自分が住んでいる地域の地盤についてや、耐震補強の補助制度等についてなど、次々と鋭い質問が飛び交いました。

**耐震構造の家**

**耐震構造ではない家**

**耐震構造の家**

**耐震構造ではない家**



家の安全に関して模型による実験もしました。耐震構造の家と耐震構造ではない家を台車で揺らすと、耐震構造ではない家があっという間に崩れました！耐震補強の重要性が分かります。

### 【参加者の感想】

参加者からは以下のような感想が寄せられました。

<店内ツアーを体験して>

- ・ 防災関係のグッズは意外なものが多くてびっくり！早速家でも取り入れたいと思います。
- ・ ホームセンターは手軽に防災グッズに触れることができるし、様々なアイデアを発見できますね。
- ・ 家具転倒ではL字金具による固定が一番簡単で丈夫だと思いました。
- ・ 今までガラス飛散防止フィルムの使用方法がわからなかったが、今日実際に体験して簡単にできることがわかりました。家でも実践してみたいと思います。

<全体を振り返って>

- ・ 自分の土地の地盤はどうなのか、もっと詳しく知りたいと思いました。
- ・ 先生や行政の方々に、耐震診断の仕組等を気軽に聞くことができ、いい機会でした。



### 【ホームセンターさんのコメント】

- ・ 普段店舗に買い物に来られるお客様の声や、日頃の備えに対する考えを聞くことができました。
- ・ 防災分野におけるホームセンターの重要性を再認識しました。
- ・ 今後も、店舗での地域交流の中で防災用品について紹介をしたり、各自治体と連携しながら地域の防災の取組をサポートしていきたいと思います。

### 【コーディネーターのコメント】

<ホームセンターでのカフェを振り返って>

- ・ ホームセンターでのカフェは、実物に触ることができるのが大きな特徴。また、様々な商品が置いてあるので、例えば「固定できるテレビと固定できないテレビ」「耐震ラッチがついている食器棚とついていない食器棚」など対比しながら商品を見ることができます。
- ・ 売られている商品に触れることで「家の裏側（建材や部品など）」を全部見ることができるのが面白いと思います。
- ・ 店内ツアーで様々な商品の「ぼうさいへの応用」を考えて頂いたり、家具固定方法などを実演により見せることは、伝え方が直接的であるため、参加者の減災行動を促す上で非常に意義があると思います。



名古屋大学 福和先生

<ホームセンターでのカフェの作り方>

- ・ 会場となるホームセンターを下見して、「この材料を使って模型がつくれる」とか「このスペースは何かの実演に使える」とか「家具コーナーに家具転倒防止器具を置こう」といったように、ネタを掘り起こすことや感覚を掴むことが大切です。
- ・ 店内ツアーのツアーコンダクターは、「ホームセンターの商品をどのように防災へ活用できるか」のアイデアを豊富に持っている方が良いでしょう。
- ・ 「防災の観点からみた商品」が、どこのコーナーに売られているかという「防災用品マップ」を作ると、店内ツアーを行う上で大変参考になると思います。

## 【会場レイアウト】

ホームセンター店内ツアーでは、こんな経路で店内を探索しました！



- A : 家具転倒防止コーナー
- B : 防災用品いろいろコーナー
- C : ガラス飛散防止コーナー
- D : 地震体験コーナー



広い通路に展示コーナーを設置



地震体験コーナーを駐車場に設置



防災用品コーナーを設置

### <レイアウトのポイント>

ホームセンターと協力し、災害予防の観点から防災用品を一堂に集めたコーナーを設けました。

店内ツアーのコース設定は、店内全体を歩き回れるようにし、各スペースに実演コーナーを設けました。

店舗の通常営業に配慮して工夫することが重要です。(受付、パネル展示の場所、店舗内の動線、フードコート等のスペースの使用方法、駐車場の動線、など)

### 【まとめ】

ホームセンターでのぼうさいカフェは、店内を歩き回ることによって、ぼうさいに関する様々なヒントを見つけることができます。

**参加者に防災に活用できる商品がたくさんあることを認識して頂くことで、ホームセンターを地域の防災用品拠点として、また気軽に事前の備えを始めるきっかけの場所として活用して頂けることが期待できます。**

「とにかく実物にふれながら、事前の備えを考えることが重要！」とお考えの方、ホームセンターでのぼうさいカフェを企画してみたいはいかがでしょうか。

### 【やってみませんか】

ホームセンターでは、例えば地元の大工や建築士会等とコラボレーションし、建築素材について詳しく話題提供するカフェも考えられます。

ホームセンターという場所だけでなく、ハウジングフェアやデパートの家具展示場での実施が考えられます。

防災のアイデアがある「場」を活かす例としては、ホームセンターの他にもショッピングモール、博物館などがあります。